

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 淡路医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	29	対象	透し未訓力	救 臨 が 感 へ 災 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,426,863	35,005	-	第2種該当	7：1

※1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
377	-	15
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
45	4	441
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
377	-	377

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

淡路医療センターは、昭和31年の開院以来、淡路島の中枢病院、唯一の公立病院として、地域医療を支えてきた。平成25年に新築移転し、一般病棟のほか精神、結核、感染症病棟を整備、淡路島の高度急性期・急性期医療を担う基幹病院としての役割を果たしている。また、地域が中心診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域救命救急センター等の指定を受け、良質で安全な医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症患者受入れに伴う入院病床の確保、病床調整、手術制限等はあったが病床利用率の増加により、医業収益は増加したが、高額な薬品や診療材料の使用量の増加等に伴い材料費比率は高い水準となっている。

今後も診療機能の充実、地域医療連携及び医療・介護連携の推進による患者確保、新たな施設基準の取得等に努めるとともに、業務の効率化や材料費の節減等経営改善を図り、累積欠損金解消に向けた取組みを進める。

2. 老朽化の状況について

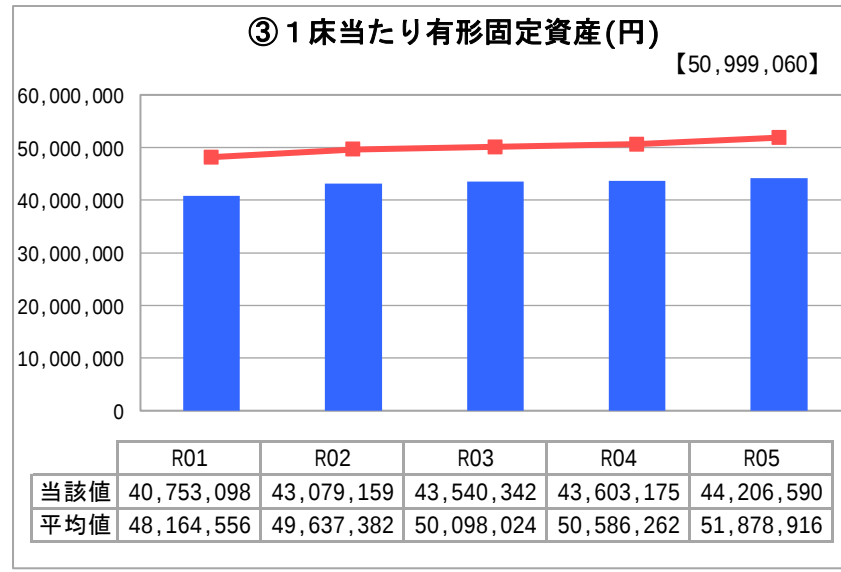
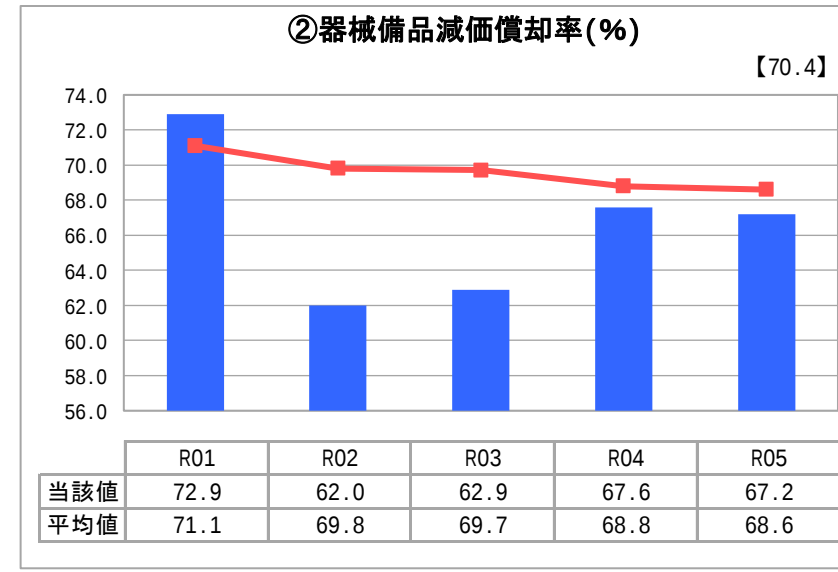
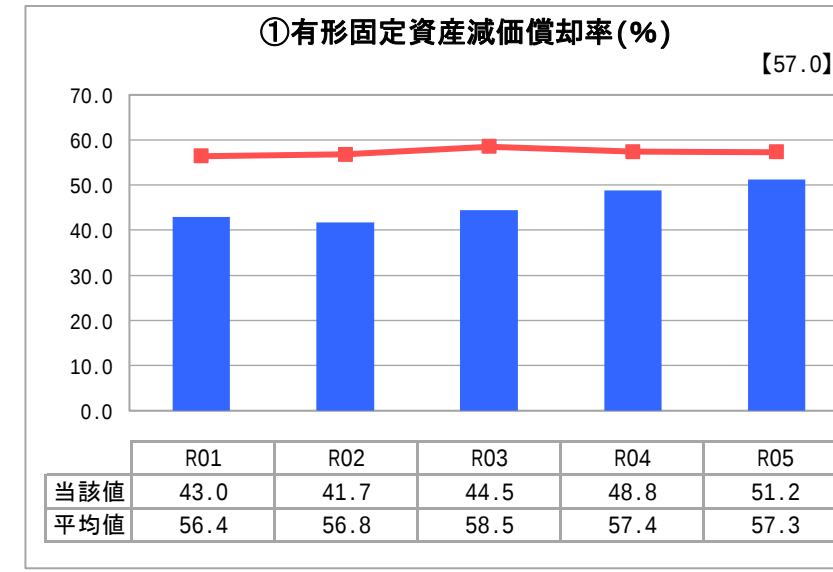
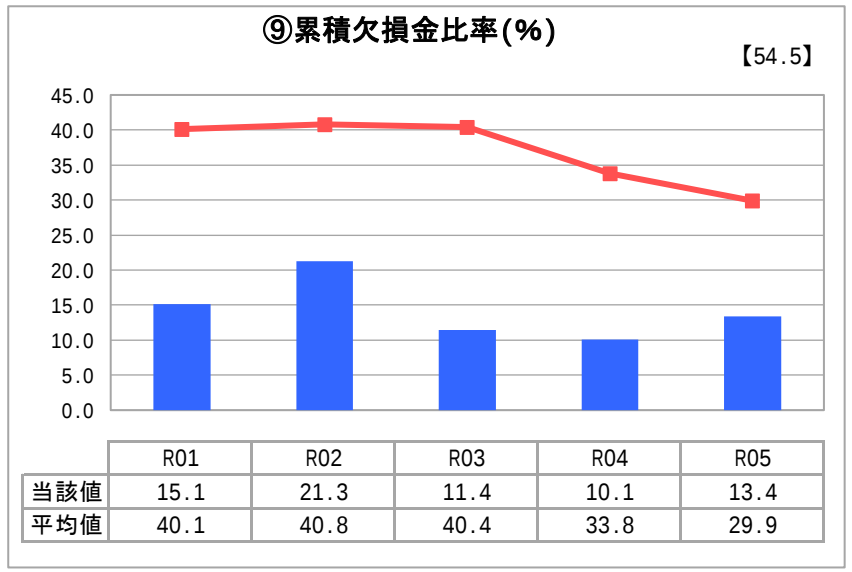
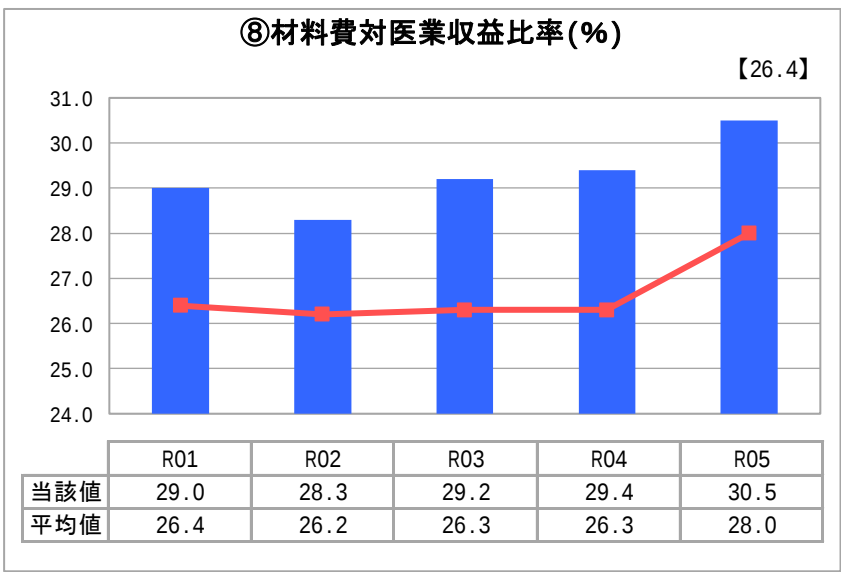
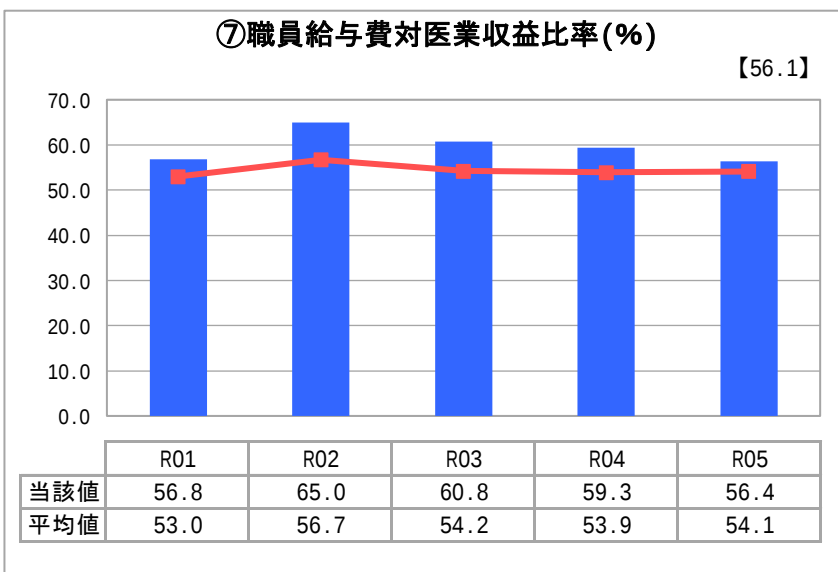
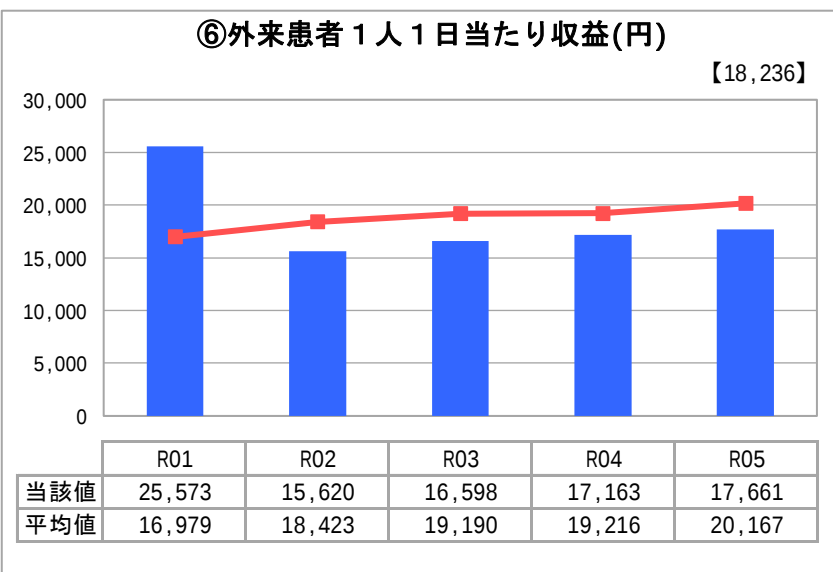
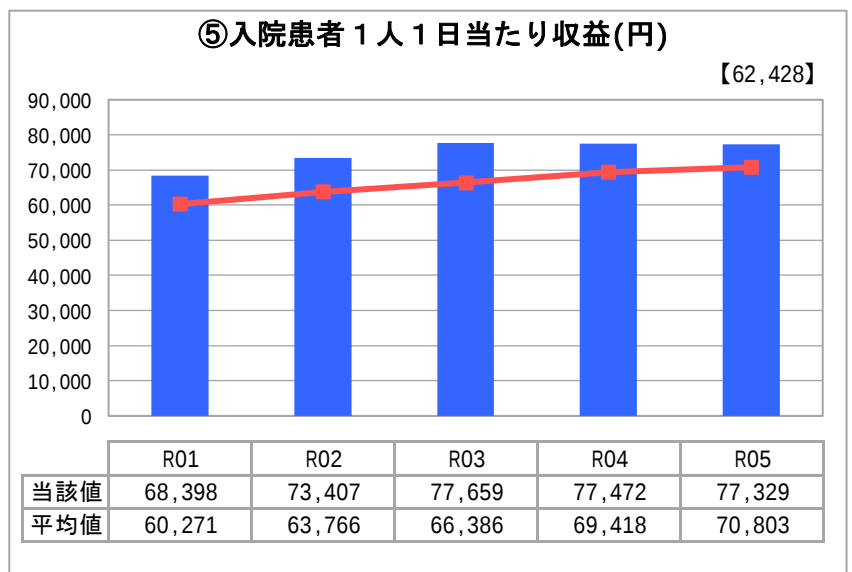
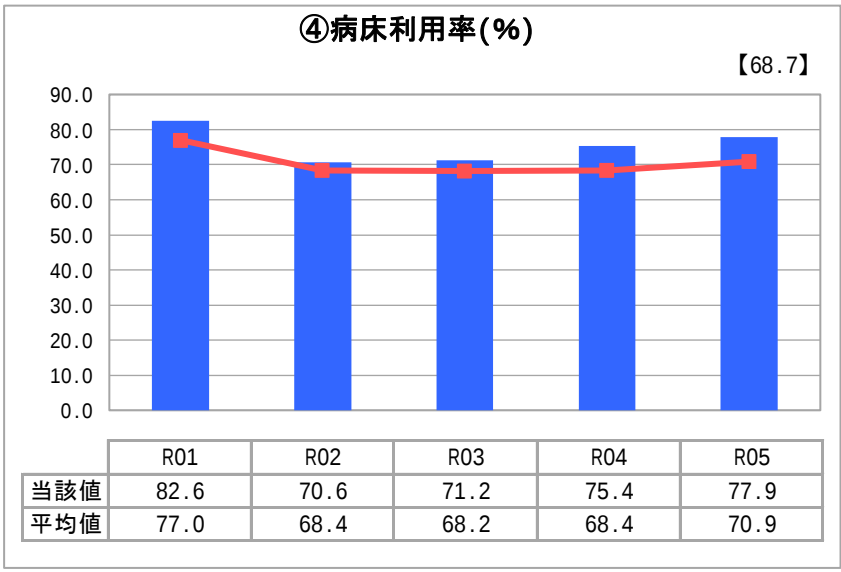
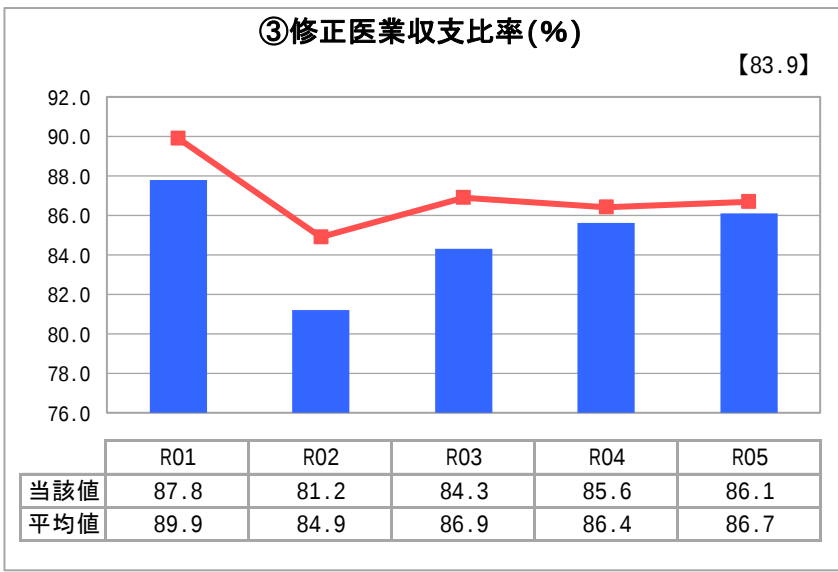
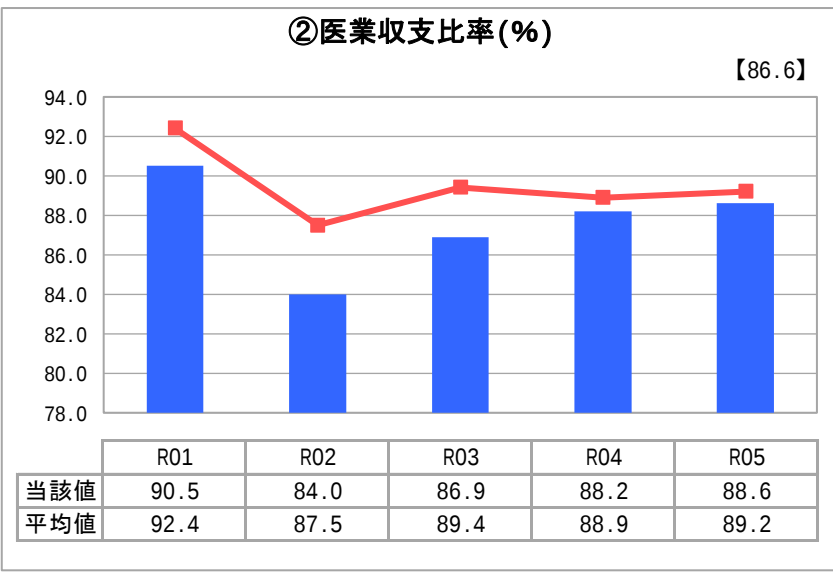
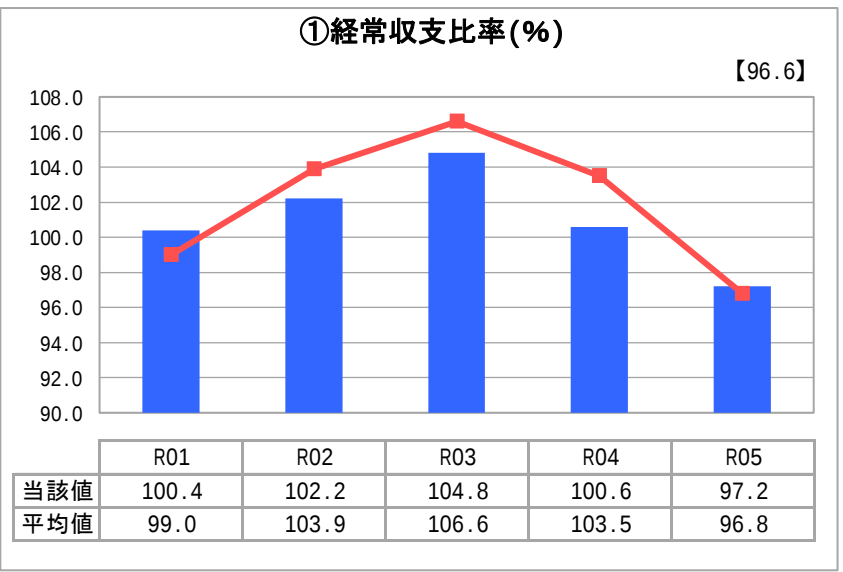
平成25年度の新築移転から有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率は年々増加しており、旧病院から引き継いで使用している医療機器については順次更新の必要がある。移転時に購入している器械備品についても耐用年数に達した機器がほとんどである。建物設備の修繕も年々増加傾向にあるため、今後は医療機能への影響も勘案しながら計画的に更新等を進めることとしている。

全体総括

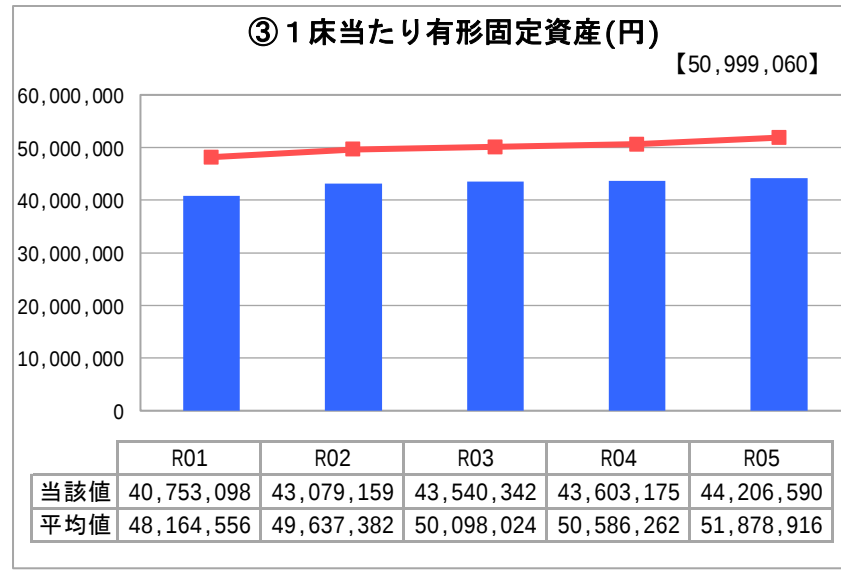
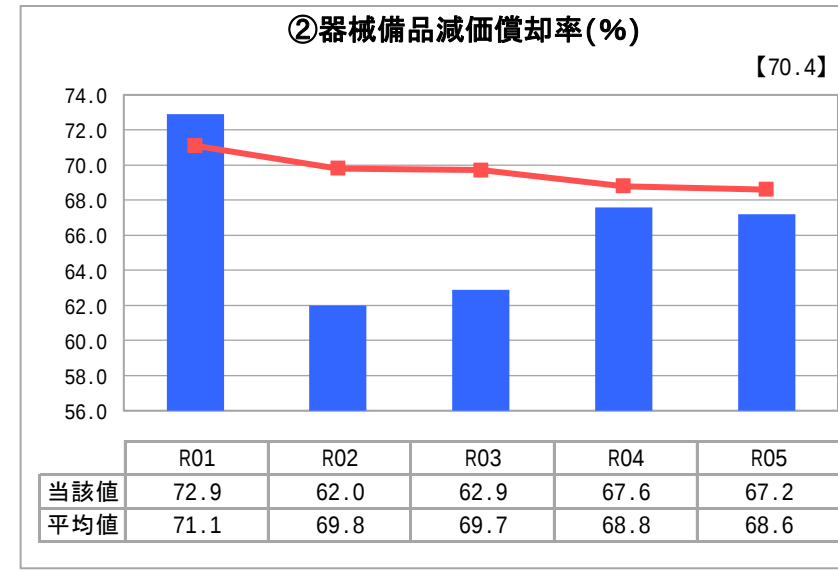
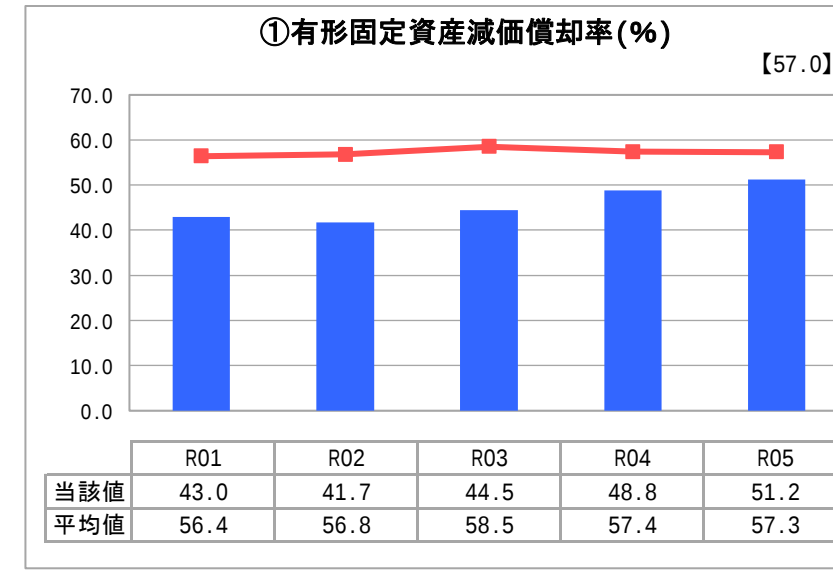
淡路圏域の基幹病院として新型コロナウイルス感染症患者の受入れ等に対応しつつ、黒字経営の継続を目標に更なる経営改善に努める。今後も診療機能の充実、地域医療連携の強化、適正な診療報酬請求等による収入確保、働き方改革による業務の効率化及び適正な人員配置、後発医薬品の切替等や診療材料の購入価格適正化による材料費比率の改善を図り、より安定した経営と持続可能な経営基盤の確立を目指す。

また、高齢化が進む淡路圏域において、今後も高度専門・特殊医療を中心とした政策医療を効果的、効率的に提供していく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。